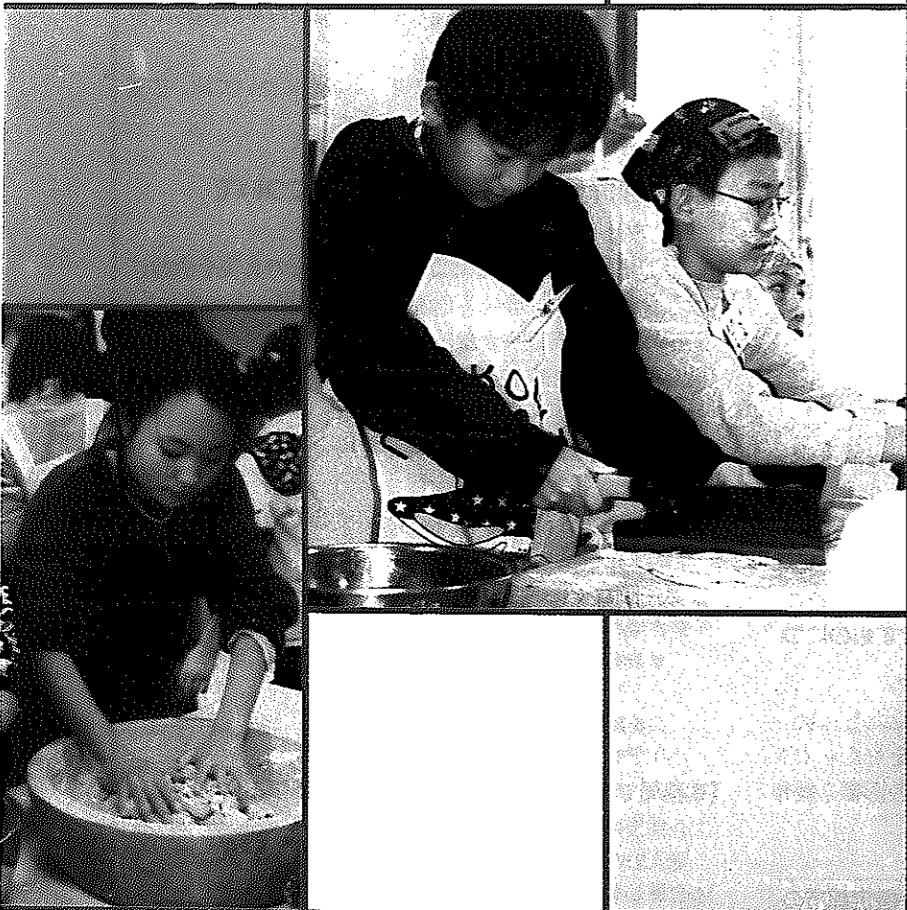


広報 しろね

2003 No.631

平成15年住民税申告のために
申告はお早めに



CONTENTS (もくじ)

- 第3回新潟地域合併問題協議会..... 2
- 市政クリップ..... 3
- 申告はお早めに、おしゃべりサロン... 4、5
- お知らせ..... 6~9
- みんなのページ..... 10、11
- ズームアップ..... 12

表紙 白根の名人とクッキング「手打ちそば体験」

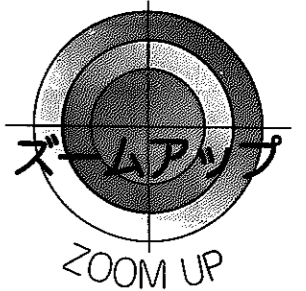


※資源保護のため再生紙を使用しています。※紙上の記事・写真の無断転用を禁じます。



左から金安教頭、石高智君、宮沢さん、小林君、片野君、石高明君、山田君、小林さん、藤田君、小柳君

環境大臣賞を受賞 白井中学校選択理科履修グループ



第四十六回日本学生科学賞(全日本科学教育振興委員会など主催)で、白井中学校三年生「選択理科履修グループ」の石高明君(十五歳・朝巻)、宮沢みゆきさん(十五歳・田上町)、小林優希子さん(十五歳・上赤洗)、石高智君(十五歳・朝巻)、小林良太君(十五歳・上赤洗)、藤田友明君(十五歳・下八枝)、山田歩君(十五歳・西笠巻)、小柳隆君(十五歳・白井)、片野弘啓君(十五歳・小蔵子)が、環境大臣賞を受賞しました。受賞した研究テーマは、「分布と行動を中心としたチリメンカワニナの研究」です。「学校の近くで採取したカワニナが、県下で三カ所目の発見であるチリメンカワニナだったことを知って、調査を開始しました」とグループ代表の石高明君。その後、約半年間にわたり、金安教頭の指導でチリメンカワニナの生息地や行動、習性などを丹念に調べ上げました。その結果、県下の平野部における、ほぼ全域の生息状況を明らかにしました。

中央審査は、昨年十二月二十日、二十一日に東京都の日本科学未来館で行われ、石高明君と宮沢さん、小林さん、金安教頭が出席。宮沢さんは「思いもしない質問をされたときには、緊張してうまく話せなかった」と振り返りましたが、「三人の生徒は、審査員の質問にはしっかりと答えていました」と金安教頭は笑顔で話していました。

選択理科履修グループの九人は今春卒業。「今度は後輩たちから、いろいろな研究に頑張って取り組んでもらいたい」とエールを送っていました。

▶数字で見る市勢 ※1月1日現在 ※()内は前月比

人口	40,793人 (+29人)
男	19,936人 (+11人)
女	20,857人 (+18人)
世帯	11,429世帯 (+9世帯)
出生	23人 死亡 29人
12月中 転入	95人 転出 60人

編集ルーム

◎2月といえはバレンタインデー。中学生だったわたしは、放課後好きな男の子に「屋上に来て」と小さな手紙を渡し、緊張しながら待っていました。◎1時間後、友人から「もう帰ったよ」と聞かされることに…。ショック!でも翌年違う男の子に渡しました。立ち直り早っ。◎あれから10年です。ガンバレ世の中学生諸君!でも学校にお菓子はダメよ。←説得力なし (あ)

半天風 (東京)

紺色の法被の形を、そっくり風にししました。肩骨と縦骨に筋交い骨が入られます。袖をひらひらさせながら揚がります。薄い布地で作られています。房絵の袖風に似ています。

作者の鹿島達郎氏は十五年ほど前、サラリーマンを辞めて風屋を始めたほど、心底風を愛した人です。江戸風を始め、ケロリ、とんびなど、日本のいろいろな風を作りました。「青い竹、枯れた竹、それぞれに表情があつて、魅力がある」と話していました。

一九八八年、大阪のドイツイ文化センターが企画した、世界のアーティストに風絵を描かせ和風にする「アートのカ

イト」では、多くの風を手掛けました。口数の少ない人でした。風揚げ大会でも、会場の片隅でひとり風揚げを楽しんでいる、そんな感じの人でした。十年前に他界しました。

半天風は、まだサラリーマンだった鹿島氏が作りました。「揚げてみて」と贈ってくれた風です。



あなたも風博士

文・田村和雄

(しろね大風と歴史の館運営委員会委員)